

経済建設常任委員会

12月定例会

質疑

委員会報告

一般質問

特集

12月13日・16日の2日間、
陳情2件と所管の事務調査および
簡易水道6カ所の水源、配水地の現地調査と
むきぼんだ配水拡張区域の視察調査を行いました。



販売好調大山口団地

建設課

今

年売り出した大山口団地は、12区画のうち10区画に申し込みがあった。残り2区画は再募集する。また、ナスパルタウンは、40区画の売れ残りがあり販売に努力するよう指摘した。現在、イオン日吉津に広告板を設置する予定である。若者向け住宅は全戸入居が決まった。山陰道東伯中山道路が今

年度開通となる。交通量が増え、農耕車と高齢者の道路横断が危険となるため、地元から信号機の設置要望が出ている。名和中山道路は、町の文化財調査が終了し、県に引き継いだ。町道一の谷赤松線の改良工事は地権者が多いため、今年度の工事実施が困難となった。次年度に改めて予算計上する。

料金統一本格化

水道課

合

併協議でも懸案であった上下水道料金が平成29年度に全町統一になる。ひかりが丘団地のコミュニティプラントを公共下水道に接続し、処理費用の軽減を図る。また、光徳処理施

設では、汚泥の減量化の実験に取り組んでいる。9月定例会で協議を急ぐように指摘をした開拓専用水道は、交渉に時間をかける必要がでてきた。

↑ 山陰道東伯中山道路

大栄東伯1Cから赤碕中山1Cまでの1.2km。
平成23年2月27日開通予定。



販売開始直後に残り2区画となった大山口駅前の分譲地（大山口団地）